

製薬薬剤師セミナー

# 奈良と薬の関わり

## 古代から現代そして未来へ

### その1



奈良県薬事研究センター  
大住優子  
平成27年11月12日

# 奈良と薬の関わり

- 日本と薬のあゆみ
- 大国主命と少彦名命
- 大国主命と白兔
- 垂仁天皇と田道間守
- 薬猟
- 律令制度と薬

# 奈良と薬の関わり

- 薬物木簡
- 「風土記」
- 鑑真
- 薬に因んだ話
- 正倉院薬物
- 「大同類聚方」「医心方」

# 奈良と薬の関わり

- 民間薬の普及
- 森野旧薬園
- 大和売薬
- 医薬品等の生産の現状
- 漢方…
- 漢方のメ ッカ推進プロジ  
ェクト

# 日本と薬のあゆみ

- 中国の医薬学が確立
- 新羅・百済の医学
- 大陸の文化と共に医術・薬物の渡来



国産生薬を求めて

日本には？ 代用できる日本産？  
栽培は？

# 日本と薬のあゆみ

日本に伝わった中国医学

秦 始皇帝と徐福伝説

前漢・後漢 (BC200～AC200)

「黄帝内経」 黄河

「傷寒論」「金匱要略」 江南

「神農本草経」 長江

明 「本草綱目」

## 大国主命と少彦名命

顕見蒼生(ウツクシキアホトクサ)及び  
畜産(ケモノ)の為めに則ち其の  
病を療(オサ)むる方(リ)を定む。  
又、鳥、獸、昆虫の災異(ワザワイ)  
を攘(ハラ)はむ為には、則ち其  
の禁厭之法(マヅナイヤムリ)を定  
む。「日本書紀」

# 大国主命と少彦名命

- 少彦名命 医業・薬業・温泉・酒造の神様
- 大国主命 五穀豊穰・商売繁盛・縁結びなどの神様
- 神農さん(炎帝 中国の医薬と農業の神)
- 大神神社 少彦名神社

## 大国主命と白兔

今急かに此の水門に往き、水を以ちて汝が身を洗ひて、即ち其の水門の蒲黄(かまのはな)を取りて、敷き散らして、其の上に輾転べば、汝が身本の膚の如、必ず差えむ。「古事記」

## 垂仁天皇と田道間守

- 非時香菓（ときじくのかぐのこのみ）
- 橘
- 宝来山古墳(垂仁天皇陵)と田道間守の墳墓
- 菓祖神(菓子=果物)

## 垂仁天皇と田道間守

### □ 「橘街道」プロジェクト

菓祖 田道間守 縁の地と京阪神の菓子産地を結んだプロジェクト(近畿経済産業局)  
垂仁天皇陵、廣瀬神社(神紋:橘)、橘寺など(奈良) 他 中嶋神社(豊岡) 橘本神社(海南)等

# 垂仁天皇と田道間守

## □ 魏志倭人伝

(三国志 魏書 東夷伝 倭人条)

「有、薑、橘、椒、蘘何、不知以為  
滋味」

ミョウガ、タチバナ、サンショウ、ショウガが、  
食用となることを知らない

タチバナ：古くから野生化していた日本固有種 他にシークワサー

## 垂仁天皇と田道間守

橘皮（キツピ）

タチバナ *Citrus tachibana*

Tanaka、コウジ、ザボン、ウン

シュウミカン *Citrus unshiu*

Marcowicz、*Citrus reticulata*

Blancoの成熟した果皮

芳香性健胃、鎮咳去痰、驅風

## 垂仁天皇と田道間守

陳皮（チンピ）

ウンシュウミカン *Citrus*

*unshiu* Marcowicz、*Citrus*

*reticulata* Blanco(マンダリン, タンヅィ  
リン, ポンカン, テゴホン等)の成熟し

た果皮

芳香性苦味健胃、鎮咳去痰

## 垂仁天皇と田道間守

枳実(キジツ) ダダイ *Citrus aurantium*  
Linne var. *daidai* Makino、*Citrus*  
*aurantium* Linne、ナツミカ *Citrus*  
*natsudaikai* Hayataの未熟果実

芳香性苦味健胃、駆風

橙皮(トウヒ) *Citrus aurantium* L.(サワーオレンジ)、  
ダダイ *Citrus aurantium* L. var.  
*daidai* Makino、の成熟した果皮

芳香性苦味健胃

# 藥狽

「十四年… 六月、遣內臣 使於百濟、仍賜良馬二匹・同船二隻・弓五十張・箭五十具。勅云… 別勅「醫博士・易博士・曆博士等、宜依番上下。今上件色人、正當相代年月、宜付還使相代。又卜書・曆本・種々藥物、可付送。」 553年(欽明14年)

「十五年… 二月、… 別奉勅、貢易博士施德王道良・曆博士固德王保孫・醫博士奈率王有悽陀・採藥師施德潘量豐・固德丁有陀・樂人施德三斤・季德己麻次・季德進奴・對德進陀。皆、依請代之。」 554年(欽明15年)

「卅六年春二月戊寅朔甲辰、天皇臥病。三月丁未朔戊申、日有蝕盡之…」 628年(推古36年)

# 藥獵

「十有九年夏五月乙酉朔己丑藥獵於菟  
田野」 611年(推古19年) 菟田野

「夏五月五日藥獵之集于羽田・・其裝束  
如菟田之獵」 612年(推古20年) 羽田

「廿二年夏五月五日、藥獵也。」

614年(推古22年)

「五月五日天皇縱獵於蒲生野」

668年(天智7年) 蒲生野

# 律令制度と薬

## □ 宮内省 典薬寮

医療業務全般、薬種の採集と薬園の管理、調剤

## □ 中務省 内薬司

天皇などの診察と治療、調剤・調薬(896年典薬寮に併合)

## □ 平城京の薬園

## 律令制度と薬

- 施薬院 大衆医療・施薬
- 悲田院 社会福祉施設
- 聖徳太子 四天王寺  
療病院 施薬院 悲田院 敬田院
- 忍性 西大寺 各地で救療  
事業 北山十八間戸
- 鎮花祭 737年 天然痘 瘡

# 薬物木簡

- 平城宮跡
- 平安京跡

2014年7月2日ニュース  
「施薬院」「悲田院」  
「武蔵国施薬院蜀椒壹斗」  
施薬院の死亡報告書

# 藥物木簡

## □ 藤原宮跡

1966 (昭和41) ~ 1969年調査

藥物名：大黃、竜骨、麻黄等

「典藥」

「本草集注上卷」

「多治麻内親王宮・・・」

# 藥物木簡

1988 (昭和63) 調査

芎藭八斤 当帰十一斤

无耶志國薬桔梗卅斤

人参十斤 獨活十斤

葛根六斤 牛膝十三斤

杜仲十斤 等々

## 「風土記」

諸国の草木・鳥獣・虫魚・鉱物  
をはじめ諸物産などを集めて  
報告させたもの  
各地の薬草が記されている



国産の薬の探索と増産を  
目指したと思われる

## 「風土記」

諸国から、相当な種類と量の  
薬物が中央政府に集められた



「出雲国風土記」

「延喜式」 諸国進年料雑薬  
貢進された薬物の種類と量

## 「風土記」

「延喜式」 諸国進年料雑薬  
薬物の種類(国別の例)

近江73、美濃62、出雲53、  
播磨53、伊勢50 ……  
大和38

「延喜式」には朝廷や他の役所で使用する薬種も記載

## 「風土記」

大和国 38種の例

前胡、升麻、独活、牛膝、桔梗、  
白朮、枳実、通草、厚朴、竜胆、  
沢瀉、当帰、橘皮、桃仁、車前子、  
呉茱萸 等々…

現在も使われている薬草が見  
受けられる

## 鑑真

- 律宗 戒律伝授
- 仏典 教義
- 唐の医学、薬学、薬物
- 「鑑真秘方」 皇太后の病氣治療(続日本紀)
- 僧侶は最高の科学者
- 僧侶は医師、薬剤師、カウンセラー

# 薬に因んだ話

## □ 牛玉宝印

- 社寺で頒布される護符 起請文
- 東大寺二月堂修二会  
3月8日～10日牛玉札や陀羅尼札を手刷りし、牛玉箱に納め、満行まで祈願。14日堂司が練行衆の額に牛玉宝印を捺す。満行の証。牛玉箱をくくりつけた牛玉杖を手に下堂。
- 牛黄を含んだ牛玉墨と御香水を墨汁とする。
- 牛黄 ウシの胆のうち中に生じた結石→胆石  
六神丸などに配合 単味製剤(効能効果：強心、解熱、鎮痙)

# 薬に因んだ話

## □ 法華寺から風呂

- 光明皇后が1000人施浴の発願により建設された天平時代の蒸し風呂。床下の釜で湯をわかし、すのこの板床を通して浴室に蒸気を充満させる。別の釜で薬草を焚き、薬風呂としても用いた。江戸時代、明治時代には幾度もたかかっている。2003年9月、解体修理と釜の復元が完了し蒸し風呂が再現された。
- 京都八瀬かま風呂は、内部の土全体を焚いて火熱してから、床に荒筵を敷き、床に塩水を撒いて入るサウナ方式。
- 韓国ヨモギ蒸し

# 薬に因んだ話

## □ お屠蘇

- 屠蘇散(屠蘇延命散)「邪気を屠り、心身を蘇らせる」 魏の名医華陀の処方ともいわれる
- 1年間の健康延寿を祈願する、中国から伝わり、平安時代に広まった風習。
- 一人でこれを飲めば一家に疫なく、一家でこれを飲めば一里に疫なし。
- 一般的な処方は白朮、蜀椒/山椒、防風、桔梗、桂皮、陳皮など。もとは烏頭や大黃も加えていたらしい。

# 薬に因んだ話

## □ 七草

### ● 春の七草

せり(芹)、なずな(パンパソ草)、御形(母子草)、はこべら(ハコベ)、仏の座(物科コトシラ)、すずな(蕪)、すずしろ(大根) これぞ七草

### ● 秋の七草

秋の野に 咲きたる花を指折り かき数ふ  
れば 七種の花

萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴  
朝貌の花 山上憶良(万葉集巻8-1538)

葛根、瞿麦子、敗醬根、蘭草、桔梗／牽牛子

# 薬に因んだ話

## □ 七味唐辛子

- 江戸時代に東京(薬研堀)から長野、京都へ
- 日本の代表的混合スパイス。ブレンドが少し異なる←食文化の違い？
- 赤唐辛子、陳皮、胡麻、山椒、芥子の実、青紫蘇、麻の実、生姜、青海苔

## □ カレー粉

- 世界的薬膳。芳香性健胃薬など薬として使われているものが多く、日本以外の国や地方の民間薬も多い。

# 薬に因んだ話

- ウコン(ターメリック)、トウガラシ、チョウジ(クローブ)、サフラン、ショウズク(カルダモン)、コショウ、ウイキョウ(フェンネル)、ショウガ、ニッケイ(シナモン)、クミン、コリアンダー、アニス、ベイリーフ、ニンニク  
あらゆる香辛料(ハーブ)
- くす玉←薬玉
- 「続日本後記」仁明天皇嘉祥2年(849)5月5日の項に薬玉
- 端午の節句に麝香、沈香などを錦の袋に入れ蓬、菖蒲などを添え、五色の飾り糸を垂らす。香りで邪気払い。重陽の節句に菊花、呉茱萸を入れた袋と取り替える。